

各位

会社名 ITbook ホールディングス株式会社  
 代表者 代表取締役会長兼 CEO 恩田 饒  
 代表取締役社長 前 俊守  
 (コード: 1447、東証マザーズ)  
 問合せ先 執行役員 管理本部長 神谷 修司  
 (電話番号: 03 - 6264 - 8200)

### 通期業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、2019年5月10日開催の取締役会において、最近の業績の動向を踏まえ、2018年11月14日に開示いたしました2019年3月期(2018年4月1日～2019年3月31日)の通期業績予想及び1株当たり配当予想について、以下の通り修正することといたしましたので、お知らせいたします。

#### 記

#### 1. 2019年3月期 通期 連結業績予想数値の修正(2018年4月1日～2019年3月31日)

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭
前回発表予想(A)	12,946	420	362	189	9.60
今回修正予想(B)	11,272	65	60	△87	△4.80
増減額(B-A)	△1,673	△355	△301	△277	—
増減率(%)	△12.9	△84.5	△83.4	—	—
(参考)前期連結実績 (2018年3月期)	—	—	—	—	—

#### 2. 通期 連結業績予想と実績の修正の理由

下記の理由により、売上高、営業利益、経常利益、当期純利益は、2018年11月14日に発表いたしました業績予想を下回る見込みです。

売上高につきましては、コンサルティング事業、システム開発事業及び人材派遣業において当初予想を下回りました。具体的にはコンサルティング事業の中核であるITbook株式会社が、システム開発人材の不足により、民間企業へ提供している「r.a.k.u.」の受注が思うように獲得出来なかったことが主な要因です。これについては、期中に積極的に人材獲得を行ったので、来期は売上増を見込みます。

営業利益、経常利益、当期純利益につきましては、上記要因及び、当社設立のためのITbook株式会社及びサムシングホールディングス株式会社の株式移転方式による経営統合関連費用が予定していた金額を上回りました。更に、事業拡大に向けた人材投資により、販売費及び一般管理費が併せて約250百万円を追加計上したことなどが主な要因です。

### 3. 配当予想の修正

	1株あたり配当金（円）		
	第2四半期期末	期末	合計
前回予想 (2018年11月14日)		未定	未定
今回修正予想		0円00銭	0円00銭
当期実績			
前期実績 (2018年3月期)	—	—	—

### 4. 理由

当社は、株主の皆様に対する利益還元を重要な経営課題の一つとして認識し、将来の事業展開と経営体質の強化のために必要な内部留保を確保しつつ、期末配当として年1回の剰余金の配当を行うことを基本方針として考えてまいりました。

しかしながら、上記「1. 2019年3月期 通期 連結業績予想数値の修正」のとおり、親会社株主に帰属する当期純利益が予想を下回る見通しとなったため、これまで「未定」としておりました当期の期末配当予想を「無配」とさせていただくことにいたしました。

来期は配当をお支払いできるようにしたいと考えておりますので、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

以上